

# 資料 3 - 1

科学技術・学術審議会

人材委員会（第92回）

令和3年10月21日

令和3年8月6日  
科学技術・イノベーション推進事務局  
統括官決定

## 「総合科学技術・イノベーション会議 教育・人材育成ワーキンググループに向けたキックオフミーティング」の設置について

### 1. 趣旨

第6期科学技術・イノベーション基本計画において、新たな柱として、教育・人材育成に関する事項が盛り込まれたことを踏まえ、着実な本計画の実現に向けた具体策等について検討を進めるため、今後、評価専門調査会の下に設置を予定している「教育・人材育成ワーキンググループ」の円滑な運営準備のため、「総合科学技術・イノベーション会議 教育・人材育成ワーキンググループに向けたキックオフミーティング」（以下「キックオフミーティング」という。）を設置する。

### 2. 調査・検討事項

「教育・人材育成ワーキンググループ」における本格的な議論に向けて、構成員の共通認識の形成や検討課題の抽出等を行う。

### 3. 座長

座長は、キックオフミーティングの事務を掌理する。座長がキックオフミーティングに出席できない場合は、あらかじめ座長の指名する構成員が、その職務を代理する。

### 4. 公開

原則として公開とする。ただし、座長が会議を公開しないことが適当であるとしたときは、この限りではない。

### 5. キックオフミーティングの庶務

文部科学省等関係省庁の協力を得ながら、科学技術・イノベーション推進事務局において処理する。

総合科学技術・イノベーション会議  
教育・人材育成ワーキンググループに向けたキックオフミーティング  
構成員名簿

【総合科学技術・イノベーション会議議員】

座長 藤井 輝夫 東京大学総長  
上山 隆大 元政策研究大学院大学教授・副学長  
梶原 ゆみ子 富士通株式会社執行役員常務  
小谷 元子 東北大学理事・副学長  
東北大学材料科学高等研究所 主任研究者兼大学院理学研究科数  
学専攻教授  
佐藤 康博 株式会社みずほフィナンシャルグループ取締役会長  
一般社団法人日本経済団体連合会副会長  
篠原 弘道 日本電信電話株式会社取締役会長  
一般社団法人日本経済団体連合会副会長  
橋本 和仁 国立研究開発法人物質・材料研究機構理事長  
梶田 隆章 日本学術会議会長

【中央教育審議会、産業構造審議会 委員】

秋田 喜代美 学習院大学文学部教授、東京大学名誉教授  
荒瀬 克己 独立行政法人教職員支援機構理事長  
今村 久美 認定 NPO 法人カタリバ代表理事  
岩本 悠 一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォーム代表理事  
島根県教育魅力化特命官  
木村 健太 広尾学園中高等学校 医進サイエンスコース統括長  
戸ヶ崎 勤 埼玉県戸田市教育委員会教育長  
中島 さち子 株式会社 steAm 代表取締役社長  
2025 大阪・関西万博テーマ事業プロデューサー  
松田 悠介 認定 NPO 法人 Teach For Japan 創業者・理事  
渡邊 光一郎 第一生命ホールディングス株式会社取締役会長  
一般社団法人日本経済団体連合会副会長

(五十音順、敬称略)

# 「教育・人材育成ワーキンググループ」における当面の検討事項（案）

## 1. STEAM教育の基盤となる理数教育の改善や興味・関心を高めるための取組

- STEAM教育の推進のためには、その基盤となる各教科等における探究的な学習活動の充実が不可欠であり、特に、小学校から中学校にかけて理数への関心が急激に低下することを踏まえ、義務教育段階の理数教育について、小学校高学年における理数科目における教科担任制の推進を含め、指導體制や教育内容の充実等を図るための具体的な方策
- 男女を通じ、**高校段階以降で生徒の大半が理数の学びから離れている実態を踏まえた文理分断を脱却するための具体的な方策**
- 中央教育審議会における免許制度改革等に関する議論と連動した、博士号取得者や若手研究者、企業人材等の高度理系人材を学校に派遣し、先端技術や本物の科学に触れる機会を創出するための具体的なスキーム

## 2. STEAM教育を社会全体が支えるエコシステムの形成

- STEAM教育に資する既存のコンテンツやスキームについての効率的かつ効果的な整理・発信
- 企業や大学関係者等のSTEAM人材、学校関係者、自治体関係者等、地域全体を包含するような複層的・重層的なネットワーク構築の在り方
- 企業や若手研究者等が参画するためのインセンティブの設計

## 3. 特定分野に特異な才能のある子供の教育

- 特異な才能のある子供たちについて、その能力の定義、その子供たちの存在について認知度を高める方策
- 特異な才能のある子供の能力を伸長するための各学校段階における必要な取組
- 時間や場所を選ばない遠隔教育やEdTechの積極的な活用も踏まえた個別最適な学びの提供方法
- 国、教育委員会、小学校から高等学校まで各段階の学校、民間企業や大学等における具体的な役割分担

## 4. GIGAスクール構想の持続可能性を高め、子供たちの多様な背景や認知の特性等を踏まえた個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた取組

# 今後の流れ（イメージ）

- 各委員の発言時間を確保し、より実質的な議論が進められるよう、集中的に議論を行う2時間～2時間半程度のWG（ロング）と、テーマ別議論や有識者ヒアリング等を実施するWG（ショート）を組み合わせ、効率的に会議運営する。
- 中央教育審議会や産業構造審議会等における議論との重複等为避免、より有機的な連携を図るため、並走する両審議会等の状況の本WGへのインプット・本WGにおける議論の両審議会等へのアウトプットを適宜実施する。

		2021（R3）年度						2022（R4）年度								
		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
政府全体			R4 概算要求				政府 予算案	報告	統一 イノベ 戦略 推進 会議	議論	統一 イノベ 戦略 推進 会議	成長 戦略 骨太・	統一 戦略		R5 概算 要求	
教育・人材WG		評価 専門 調査 会	ロング （木曜 会合 ショート）	8/18 （水） キック オフ	9/16 （木） WG ①	10/14 （木） WG ②	10/27 （水） WG ③	11月 中旬 WG ④	12月 上旬 WG ⑤	中間 とり まとめ	WG ⑥	WG ⑦	とり まとめ	政策 パッ ケージ 策定		
		※評価専門調査会にも適宜報告														
文科 省 （中教 審等）	免許 制度	【「令和の日本型学校教育」を担う教師の在り方特別部会】														
	特異な才能	【特定分野に特異な才能のある児童生徒に対する学校における指導・支援の在り方等に関する有識者会議】														
	教科担任	【義務教育9年間を見通した指導体制の在り方等に関する検討会議】														
経産省 （産構審）		【学びの自律化・個別最適化WG】														
		【学びの探究化・STEAM化WG】														
COCN （産業競争力懇談会）		企業や教育界等と連携したプラットフォーム設立・運営														